

事前にいただいたご質問等と区の考え方、対応（令和6年度 第1回生野区区政会議 各部会）

資料ページ	ご質問等	委員名	区の考え方、対応	担当課
【資料1】 令和5年度生野区運営方針 振り返り (5ページ)	◆区政運営の基本的な考え方について 区政運営の基本的な考え方として「異和共生」と「生野区政3本柱」での「多文化共生」とのつながりがどう関連するのか。	島本委員 (まちの未来部会)	生野区では80近くの国から集まった様々な人たちが働き、暮らしています。 「多文化共生」では「壁を取り払って一緒にやりましょう」と言う事がありますが、壁を取り払うと強い方が弱い方を飲み込む「併合」になり共生できない事が多くあります。 「異和共生」は、敢えてお互いの壁は立てたままで、でも壁の外に一步步踏み出して壁と壁の隙間で一緒にできる事を少しずつ広げていこうという、関西沖縄文庫主宰の金城馨さんが提唱されている考え方です。その前提となるのは、壁を支える基の部分には歴史や文化や個人の大切な思いなどが詰まっており、それらをお互いに認め合い尊重し合うという姿勢です。 生野区では、この「異和共生」を基本理念として、まちづくりや区政運営を進めておりますので、当区における「多文化共生」とは、「異和共生」の考え方に基づき、壁は残したままで違いを認め合い、対等な関係で生きていく事をあらわしています。	企画総務課
【資料1】 令和5年度生野区運営方針 振り返り (14ページ)	◆自転車交通ルールと運転マナーについて 大きな国道等ではない普通の道の交差点での信号無視は目に余る。青信号になって進もうとすると、交差点を停止しない自転車(老若男女問わず)がよく進行してくる。しかも決まってヘルメットは被っていない。 ヘルメット着用義務化を生野区だけでも条例で推進して欲しい。	長谷川委員 (くらしの安全・安心部会)	令和5年4月1日から施行された改正道路交通法により、全ての自転車利用者について、乗車用ヘルメットの着用が努力義務となっております。 当区では警察と連携した街頭啓発の実施や、区ホームページなどで自転車乗車時のヘルメット着用を呼びかけるとともに、自転車の交通安全や交通ルールについても周知に努めております。	地域まちづくり課

事前にいただいたご質問等と区の考え方、対応（令和6年度 第1回生野区区政会議 各部会）

資料ページ	ご質問等	委員名	区の考え方、対応	担当課
【資料1】 令和5年度生野区運営方針 振り返り (18ページ)	◆すべての世代の健康づくりの取組みについて 指標の達成状況が未達成となっているが、各々の項目について具体的な一つ一つの取組みや私たちが協力できるような新しい取組みについて教えていただきたい。	中村（一）委員 (くらしの安全・安心部会)	令和5年度、生活習慣病予防や介護予防の取組として、自主的に自らの健康づくりの大切さを意識していただくため、区民の方と協同で「いくみん健康体操」「血管年齢測定」「高齢者体力測定」など、啓発事業を実施いたしました。 各種検（健）診の重要性を周知するための取組としては、保健師等による地域健康講座を実施（213回開催、3,139名参加）するとともに、「健康・食育フェア」等のイベントで大腸がんクイズラリーや乳がん検診の啓発を実施いたしました。 また、区役所では、平日午前・午後の2回、がん検診についての片内放送を実施するとともに、受診機会の確保として、大腸、肺、乳がん、骨粗しょう症検診を1日で受診可能な総合がん検診を7回実施いたしました。 普及啓発としては、「がん撲滅戦隊いくみんレンジャー」のイラストや4コマ漫画を活用し、HPやSNS等での普及啓発に取り組みました。 さらに、チラシ・ポスター・クリアファイルなどの啓発物品を作成し、医師会等のがん検診受診促進協定締結団体や郵便局等と連携した配布・掲出に取り組み、小・中学校就学関係書類送付時に、保護者へ啓発チラシを同封し受診勧奨を行いました。 区民の方にご協力いただきたいこととしては、検診の重要性やがんに関する正しい情報について、日頃から家族や友人と話題にさせていただき、身近な方と声を掛け合いながら定期的な受診につなげていただければと考えております。また、区医師会と連携を図り、かかりつけ医からも、がん検診や特定健診はおトクに受診できることをご案内していただけるように、協力をお願いしてまいりたいと考えております。	保健福祉課

事前にいただいたご質問等と区の考え方、対応（令和6年度 第1回生野区区政会議 各部会）

資料ページ	ご質問等	委員名	区の考え方、対応	担当課
【資料1】 令和5年度生野区運営方針 振り返り (21ページ)	◆真に支援が必要な方への確実な対応について ①不安がある妊婦や産後間もない時期の家庭に対して、保健師等が継続的に訪問養育支援する「専門的家庭訪問支援事業」の年利用家族数は何世帯で、その効果測定はされているか。 ②「子育て相談体制を強化することにより」という文言の「何により」が抜けているように思う。それに関連してキントーンシステムを活用した「こども包括ケアシステム」の登録者135名と、以前に比して増えていなくて、具体的に何を強化、取り組むするのか教えていただきたい。	安委員 (こどもの未来部会)	①令和4年度専門的家庭訪問指導事業実績は、妊婦1人、養育者16人でした。効果測定については、専門的家庭訪問指導事業導入時及び終了時に、「育児支援チェックリスト」と「赤ちゃんへの気持ち質問票」を実施しています。 ②区役所や地域、各子育て支援機関が情報共有を行い、連携を密にすることで子育て相談体制の強化を図ってきたところです。それに伴い、社会福祉協議会への委託事業として「こども包括ケアシステム」を位置付け、地域福祉ネットワークにおける「こどもの見守り」を強化するための専門職員の配置とキントーンシステムを活用したネットワークを構築して参りましたが、ご指摘のとおり登録者数については伸び悩んでいる状況であることから、活用の中から見えてきた課題をもとに、新たな手法について今後検討する必要があると考えています。	保健福祉課
【資料1】 令和5年度生野区運営方針 振り返り (24・43ページ)	◆外国につながる家庭や多言語・多文化環境での子育て支援 / 教育について 新しく日本にやってこられた外国籍の方々が増えている（特に5歳未満の子どもが増えている）。多言語・多文化環境での子育て（妊娠や出産、子育て）は言語や文化、社会参加などでバリアが多くある。第一言語での情報提供や相談窓口、保護者・子ども向けのプログラムや気軽に行ける場所などの活動が重要になってくる。ピアサポートを導入したり、地域と連携して当事者の人たちが関わっていくしくみがあると良いと思う。 また絵本の読み聞かせなども、大阪わかば高校の生徒さんが区や地域と連携して多言語での絵本の読み聞かせをやっており、素晴らしいと思う。生野区全体にもこうした多言語での取組が増えてほしいと思っており、保幼小、中高まで、多言語・多文化環境の教育の取組を積極的に（すでに行われていること含めて）可視化、アピールしていく仕組みがあると良いと思う。	今井委員 (こどもの未来部会)	区役所では、保護者自身が母国語を用いて読み聞かせができるよう「外国語で書かれた絵本を紹介する小冊子」を毎月の乳幼児健診の際に必要な保護者に配布を行っています。 また、今年度から試行的に、日本語学校と連携して外国につながる子ども（小中学生）への学習支援に取り組んでいく予定です。	地域まちづくり課 保健福祉課

事前にいただいたご質問等と区の考え方、対応（令和6年度 第1回生野区区政会議 各部会）

資料ページ	ご質問等	委員名	区の考え方、対応	担当課
【資料1】 令和5年度生野区運営方針 振り返り (26・27ページ)	◆人々の多様性を尊重し、認め合える環境づくりの取組みについて 指標の達成後の具体的な取組みについて教えていただきたい。	中村（一）委員 (くらしの安全・安心部会)	(企画総務課) 近年は、以前から区内にお住いの外国人住民の方の高齢化やベトナム・中国・ネパールをはじめとしたニューカマーの増加に伴う課題や支援ニーズが多様化・複雑化しております。そのため外国人住民の実態や抱える問題を把握し、その課題や支援策案などを取りまとめ、外国人住民との共生社会を構築してまいります。 (地域まちづくり課) 講習会の開催、イベント開催時でのパネル展や啓発物の配布、SNSや広報紙を活用した周知活動などを通じて、より身近でタイムリーな課題を地域住民である人権啓発推進員と協働して取り組んでまいります。	企画総務課 地域まちづくり課
【資料1】 令和5年度生野区運営方針 振り返り (43ページ)	◆「大阪市版ネウボラ」について 具体的に教えていただきたい。	島本委員 (まちの未来部会)	妊娠、出産や子育てに関して、必要な支援につながるように、自分の住んでいる地区を担当している保健師がいることを周知し、地区担当保健師との顔の見える関係づくりと家族ぐるみの支援を継続的に実施する取組みを推進し、すべての子育て家族にとって安心して気軽に相談できる場を目指して「大阪市版ネウボラ(※)」を実施しています。 (※)「ネウボラ」とは、フィンランド語で「アドバイスする場所」という意味で、切れ目ない支援をワンストップで行う制度とそのための地域拠点そのもの。 生野区では、妊娠・出産・子育てするうえで、「知っててよかった」「使って便利!」な行政サービスをいつ受けられるかが一目わかる『いくびよmyプラン』を作成し、地区担当保健師や助産師会の紹介、子育てマップ、予防接種取り扱い医療機関などの資料とともに『いくみんピョピョファイル』にまとめ、保健師が母子手帳発行時面接にお渡ししています。	保健福祉課

事前にいただいたご質問等と区の考え方、対応（令和6年度 第1回生野区区政会議 各部会）

資料ページ	ご質問等	委員名	区の考え方、対応	担当課
【資料1】 令和5年度生野区運営方針 振り返り (44ページ)	◆ライフステージに応じた子育て支援の充実について ①妊娠期から保健師との顔が見える関係への取組実績に、似顔絵、チラシを挙げているが、各地域担当者を知ってもらうことはごく当たり前のことであり、そして1歳6か月健診12組（2022年出生率977人）の参加は、あまりにも少なく、子育て世代への情報発信が機能していないのでは。 増やすための情報発信の具体策を打っているのか。 ②生野区における8か月健診と産後ケア事業の利用率を教えてください。他区では母乳育児減少、授乳相談の多さから、その専門職である助産師を常置している区もあると聞いている。そして生野区の2023年出生率1.19は大阪市平均出生率1.37よりも低く、子どもを安心して生みたいニーズを充実させることが出生率を上げることになり、そのための助産師常置は必要不可欠であると考えているが、そのような人員配置は考えていないのか。	安委員 (こどもの未来部会)	①乳幼児健診については対象者全員に個別通知を実施しています。令和4年度の1歳6か月児健康診査対象者797人に対し734人が受診しており、受診されなかった保護者へは個々にご連絡の上次回以降に受診いただくよう受診勧奨しています。また、1歳6か月児健診フォロー教室「すくすく」は、子どもを安心して産み育てることができる環境づくりのために、発達障がい児支援として発達障がい疑われる子を早期発見し、療育支援に取り組む教室で、令和5年度は、12組の親子が参加し養育の参考になったとの回答を得て、手ごたえを感じているところです。子育て世代への情報発信としては、全数把握している母子手帳発行時面接や新生児訪問場面はもちろん、乳幼児健診の場などでも子育てマップを中心とした子育て支援情報等をお伝えしております。また、妊婦教室や子育て教室などの母子保健事業については、広報にも毎月掲載しております。 ②R5年度 生野区妊娠8か月頃アンケート回収率 :78.2 % R4年度 生野区産後ケア利用率(利用人数/出生数) :7.0%(大阪市5.9%) アンケートにより支援が必要な妊婦を把握した場合は助産師や保健師による訪問等により支援を行っています。 なお、助産師による妊産婦訪問・相談事業については市で助産師会と委託契約を締結し実施しており当区で助産師を雇いあげる予定はありませんが、引き続き助産師会をはじめとしたあらゆる機関と連携し取り組んでまいります。	保健福祉課

事前にいただいたご質問等と区の考え方、対応（令和6年度 第1回生野区区政会議 各部会）

資料ページ	ご質問等	委員名	区の考え方、対応	担当課
【資料1】 令和5年度生野区運営方針 振り返り (47ページ)	◆未来を生き抜く力の育成について ①計画①「学び支援事業」の推進と両輪となるその学びの外にいる不登校の児童への取組はされているのか。まずは、区内の不登校児童数の現状と対策を教えていただきたい。 ②計画④「学校の適正配置」について、生野区西部編成により統廃合された学校の先生、生徒、保護者に対する満足調査（聞き取り）はされる予定はあるのか。再編には、プラス面とマイナス面が伴うもので、跡地委員会が行われている勝山小校区などへの大切なフィードバック情報になると思う。	安委員 (こどもの未来部会)	①市立学校の不登校児童生徒数の現状は、市全体のみ公表しており、別添資料をご参照ください。 不登校対策は市全体として取り組んでおり、まずは各学校で不登校が生じない魅力ある学校づくりに取り組みますが、不登校の予兆含む初期段階からの早期対応としては、遅刻や早退、欠席しがちな児童生徒にスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなど専門家と連携した対応等を行っています。また、不登校児童生徒の個々に応じた支援としては、別室登校や学習者用端末による自宅学習のほか、学校外の学習の場として、教育支援センター（もと鶴橋中学校など市内3箇所）による支援、不登校特例校（心和中学校）の設置など、多様な教育機会の確保に取り組んでいます。 ②生野区西部地域の学校再編により既に統合しました義務教育学校生野未来学園、大池小学校、田島南小学校については、開校の半年後に学校配置の適正化の効果や課題を把握することを目的に「統合に関するアンケート」を実施し、学校のほか、保護者、学校適正配置検討会議委員へも情報提供を行っております。 なお、他の校区で開催している統合に向けた検討会議においても委員の意向を踏まえながら情報提供していきたいと考えております。	地域まちづくり課 保健福祉課
—	◆公園の公衆トイレについて 生野区に公園は多くあるが、公衆トイレは桃谷公園・巽公園・巽大地公園・巽東緑地の計4か所しかない。大阪コリアタウン近くの公園にはないようだ。 「景色より トイレ気になる 観光地」 鶴橋駅の北東に、界隈の喧騒を忘れさせるような公園があり、ひと休みするのにふさわしい場所だが、トイレはない。 コンビニのトイレを使用すればよいということか。	長谷川委員 (くらしの安全・安心部会)	ご意見につきましては、公園整備の所管部局である大阪市建設局と共有させていただきます。	企画総務課